

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2024年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2024_v1.22

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	CPD東海知多	階数	地上4F
建設地	愛知県知多市新知字南新生の一部 (仮換地:知多新南土地区画整理事業6街区5番、 底地:知多市新知字南新生99番ほか63筆)	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	410 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2026年1月 予定	評価の実施日	2025年11月10日
敷地面積	23,269 m ²	作成者	株式会社イズミコンサルティング
建築面積	14,611 m ²	確認日	2025年11月17日
延床面積	51,581 m ²	確認者	株式会社塩浜工業 東京本社一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ホールライフカーボン(温暖化影響チャート)

このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたWLC排出量の目安で示したものです。
④は参考として運用分をBEI+で表示しています。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア= 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.7

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合 ・知多市に新築される物流倉庫である。 ・高効率な設備機器の採用等により、CO2削減にも積極的に取り組む計画となっている。	その他 ・特になし。	
Q1 室内環境 ・評価対象外	Q2 サービス性能 ・耐用年数の高い外装材を採用し、建物の耐用性の向上に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) ・植栽により良好な景観を形成している。
LR1 エネルギー ・高効率な設備機器を採用し、エネルギーの効率的利用に配慮している。	LR2 資源・マテリアル ・軽量鉄骨下地とユニット部材のOAフロアを採用することで、再利用可能性の向上に取り組んでいる。	LR3 敷地外環境 ・燃焼機器の設置をなくし、大気汚染防止に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
 ■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

無断転載禁止